

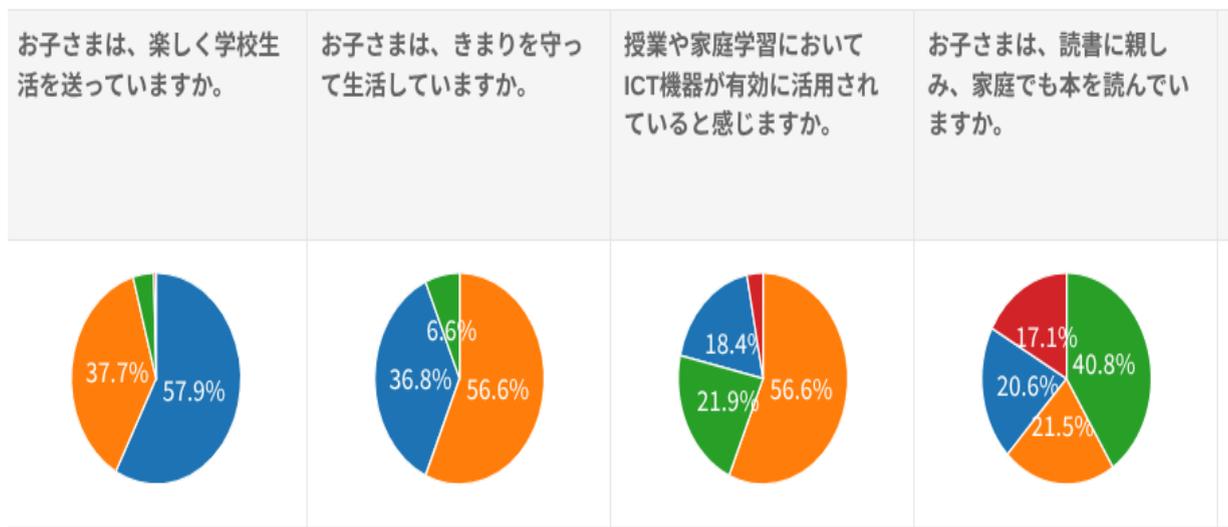


## 「学校振り返りアンケート」にご協力いただき有難うございました

1月7日から21日まで、コドモンにて実施いたしました「学校振り返りアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。お忙しい中、貴重なご意見を寄せていただきましたこと、心より感謝申し上げます。いただいた結果は教職員一同で共有し、真摯に受け止めております。今後の教育活動の充実はもとより、教員の指導力向上のための研修等に役立ててまいります。

対象人数358人回答数228人 (63%)

■ そう思う
 ■ まあそう思う
 ■ あまり思わない
 ■ 全く思わない



### ○ICT機器の活用について：スキルとルールの両輪

本校は令和7年度「LDX（ラーニング・デジタルトランスフォーメーション）文科省指定」を受け、先進校視察や研究授業を実施しております。その成果は文科省へ報告するとともに、ホームページにも掲載される予定です。

児童の学習において、学習用端末（Chromebook）は資料活用や意見交流、発表に欠かせないツールとなっています。一方で、授業参観やご家庭でその活用風景をご覧いただく機会はまだまだ少ないかもしれません。

現在、以下の2点を重点的に指導しています。

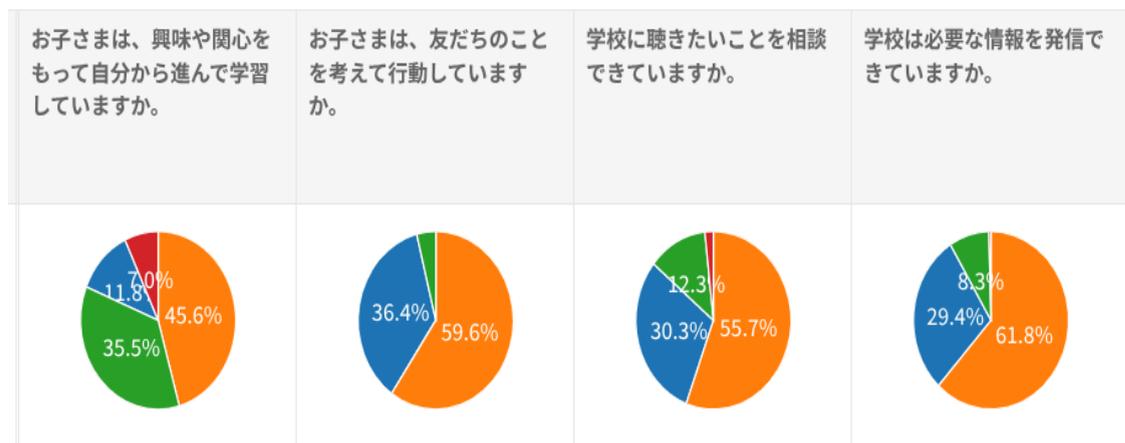
- **適切な利用の管理**： SNS等と同様、ルールの遵守については発展途上の段階です。管理者が検索履歴や使用時間帯を確認し、人権に配慮した適切な使い方を指導しています。
- **「スキル」と「ルール」の両立**： 便利な道具を使いこなす技術（スキル）と、正しく使う心（ルール）をセットで身に付けさせ、学習に活かしてまいります。

### ○読書の時間について：家庭での習慣づくり

アンケートでは「家庭で読書をする様子が見られない」という回答が約2割ありました。

学校では読書タイムや図書委員会のイベント、計画的な読み聞かせを行っていますが、「本に触れるのは学校だけ」にしないための連携が必要です。

- **電子図書館の活用**： Chromebookには「榎原市立学校電子図書館」が搭載されており、いつでも読書が可能です。
- **生活習慣の見直し**： 「時間があればゲーム」という状況や、夜遅くまでの利用による友人トラブルも散見されます。読書習慣の定着に向け、ご家庭でもゲームやYouTubeの視聴ルールの再確認をお願いいたします。



### ○学習への興味・関心について：主体性を育む環境づくり

学校では「主体的・対話的」に「深い学び」ができるように授業を進めています。自らの興味から学力を身に付けることが理想ですが、アンケートの結果を拝見し、その達成に向けた課題を重く受け止めております。

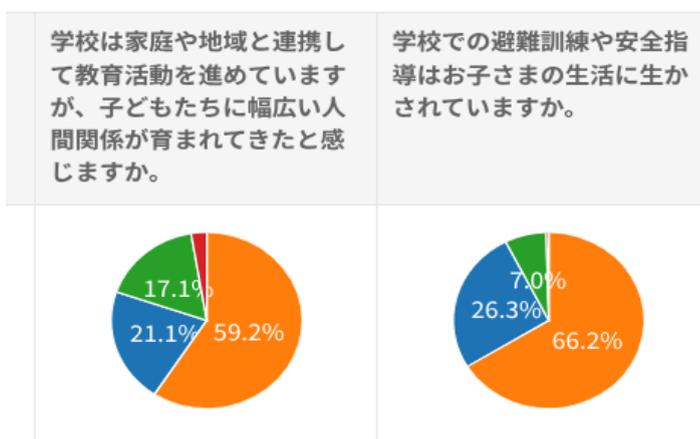
「教育とは、すべてを忘れたときに残るもの」という言葉があります。

その「残るもの」を育むには、「日々の当たり前の学習習慣」と「心をときめかせる教材との出会い」の両輪が不可欠です。これらは子どもの主体性だけでなく、周囲の大人の協力があって初めて成立します。

学級が「楽しい授業」の場であり、同時に「自分を受け止めてくれる安心できる場所」であるよう、学校と家庭で連携し、子どもの可能性を引き出していきたいと思います。

○**家庭や地域との連携について**  
**：豊かな交流の継続**

地域や保護者の皆様に支えられ、本校では以下のような多様な教育活動が実現しています。



活動内容	対象・詳細
①見守りボランティア	毎朝、50名以上の皆様による登校指導
②読書タイム	年間を通じた読み聞かせ、図書整備（15名）
③焼き芋と昔遊び	1年生：地域の方との伝統遊び交流
④プール学習の見守り	6～7月：安全確保のためのボランティア協力
⑤家庭科（裁縫・ミシン・調理実習）	5～6年：実習の個別支援
⑥戦争体験の語り	6年：地域の方々による平和学習
⑦サンクスデー	2月：ボランティアの皆様へ感謝を伝える集会

ボランティアの皆様は、お忙しい中、子供たちのために時間を割いてくださっています。こうした交流は、子供たちが将来「故郷への愛着」や「先人への尊敬」をもつきっかけになると確信しています。

今後もより良い交流のあり方を検討してまいりますので、お気づきの点やご意見があればぜひお寄せください。